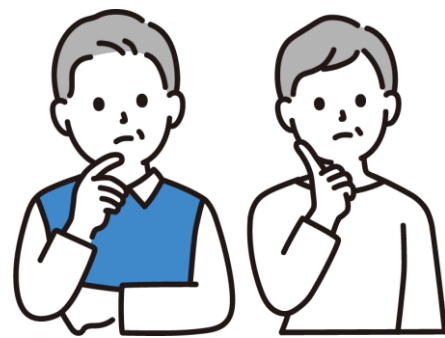




認知症ケアパス

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。症状の現れ方には、個人差があり、すべての方に当てはまるものではありません。

もの忘れなど気になる症状があれば、まずは **かかりつけ医** に相談しましょう。かかりつけ医がおられない場合は、町の相談窓口 もしくは 医療機関へご相談ください。

※掲載している情報は、R6.4.1時点のものです。

認知症の進行	正常		軽度		中度		重度
	軽度認知障害（MCI）		認知症の疑い		認知症はあるが日常生活は自立		常に介護が必要
本人の様子	●もの忘れが多くなっているが、日常生活に支障はない ●片付けが苦手になる ●外出がおっくうになる		●もの忘れはあるが、お金の管理や買い物など、日常生活に支障はない ●同じことを話す		●買い物のときに小銭で払うのが苦手になる ●探し物をする時間が増える ●同じものを何回も買う ●薬を飲み忘れる ●趣味をやめる ●不安が強い		●電話の対応や、訪問者の対応が一人では難しい ●家電の使い方がわからなくなる ●服を選べなくなる ●買い物やお金の管理などこれまでできていたことのミスが目立つ ●たびたび道に迷う
本人や周りの人が やっておきたいこと 決めておきたいこと	●もの忘れなど気になる症状があれば、かかりつけ医に相談しましょう ●今までやってきたこと（趣味、ボランティアなど）を続けましょう ●地域の方との交流を持ち、仲間を作りましょう		●介護で困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談しましょう ●お金の管理や契約について考えてみましょう		●介護する家族の健康や生活を大切にしましょう ●今後のことについて、家族内で話し合い、必要に応じて施設の情報収集などを 行っておきましょう ●人生の最後をどう迎えるか、早い段階で医師などと話をしておき、どういった対応が必要か確認しておきましょう		
生活支援	●介護予防教室 ●いきいきサロン ●通いの場 ●公民館講座		●緊急通報装置の貸し出し ●食の自立支援事業（配食サービス）		●成年後見制度 ●地域福祉権利擁護事業（金銭管理など）		
相談先	●氷川町地域包括支援センター（☎52-5335） ●氷川町役場 福祉課（☎52-5852） ●認知症（もの忘れ）相談 ※要予約 ●民生委員 ●地域の方		●認知症初期集中支援チーム ●認知症疾患医療センター 平成病院（☎65-8001） ●熊本県認知症コールセンター（☎096-355-1755） ●氷川町社会福祉協議会（☎52-5075）		状態に応じたさまざまな社会資源を利用することで、安心して暮らすことができます まずは、抱え込まずに相談しましょう		

◎元氣なうちに本人の意向を確認しましょう。エンディングノートなどを活用するのも一つの方法です。

